

湖東地域障害者自立支援協議会
令和8年度5月全体会
(意見交換会)

各グループの意見交換内容まとめ

①グループ ①重い障害のある方の受け入れ

①今できていること

- ・複数事業所で連携しながら対応
- ・行動障害への環境調整
- ・支援会議を通じた情報共有
- ・看護等の専門職との連携
- ・毎日通所への対応事例

②これから取り組みそうなこと

- ・事例検討・勉強会
- ・強度行動障害人材育成
- ・学校との早期連携
- ・卒業前調整・情報共有
- ・ノウハウ共有

③圏域として取り組むこと

- ・専門職・専門事業所NW
- ・圏域全体での受け入れ調整
- ・圏域研修
- ・実践共有
- ・圏域全体で支える仕組みづくり

【主な意見・課題感】

「1事業所だけでは対応が難しい」「卒業直前では遅い」「専門性の偏り」など、“圏域で支える必要性”について話されていた。

②グループ ③連携の仕組み

①今できていること

- ・ ケース会議を通じた連携
- ・ 担当者会議での課題共有
- ・ 保護者・事業所との情報共有
- ・ 記録・モニタリング
- ・ 看護との連携

②これから取り組めそうなこと

- ・ 情報共有シート整理
- ・ 引継ぎ整理
- ・ 本人・家族との同意形成
- ・ 空白期間を減らす早期調整
- ・ 重度ケース空き情報共有

③圏域として取り組むこと

- ・ 圏域共通ルール
- ・ 学校・放デイ・GH連携
- ・ 属人的でない仕組み
- ・ 高齢障害者支援連携
- ・ 相談しやすい風土づくり

【主な意見・課題感】

「連携はしているが、“仕組み”ではなく“支援者個人の力量”による」という課題感が多く出されていた

③グループ ③連携の仕組み

①今できていること

- ・相談支援専門員が関係機関をつないでいる
- ・ケース会議を通じた情報共有
- ・医療との情報交換
- ・災害時を想定した情報共有
- ・行政との協議

②これから取り組めそうなこと

- ・事業内のBCP内容共有
- ・事業所内の災害時役割整理
- ・学校卒業前からの早期調整
- ・緊急時連携体制
- ・本人・家族との共有整理

③圏域として取り組むこと

- ・災害時ネットワーク
- ・各事業所間でBCP共有・合同訓練
- ・相談支援専門員の負担軽減
- ・連携強化による困難ケース支援体制

【主な意見・課題感】

「支える人に依存しているのではないか」という危機感や、“支援の継続性”への不安について話されていた。

④グループ ②人材確保・定着

①今できていること

- ・ ICT化
- ・ AI活用
- ・ 支援方法共有
- ・ 若手職員への声かけ
- ・ チームで支援を考えている

②これから取り組めそうなこと

- ・ ICT活用推進
- ・ AI活用方法の共有
- ・ ICT導入による記録簡略化
- ・ OJT内容の見直し
- ・ 福祉の魅力発信について考える

③圏域として取り組むこと

- ・ ICT・AI実践事例共有
- ・ 人材育成研修の実施
- ・ 若手職員の交流機会づくり
- ・ 業務改善事例共有

【主な意見・課題感】

「理想の支援以前に、現場を回すこと自体が大変」という現実や、“人材不足を補うためのICT・AI”について話されていた。

⑤グループ ③連携の仕組み

①今できていること

- ・相談員がつなぎ役
- ・会議・担当者会議
- ・職員間共有
- ・利用者・家族との関係づくり
- ・他法人とも一部連携

②これから取り組めそうなこと

- ・相談員だけに頼らない連携
- ・会議内容を実践へ
- ・情報共有見直し
- ・顔の見える関係づくり
- ・小さな困りごとの共有

③圏域として取り組むこと

- ・法人を超えたNW
- ・事業所間の継続的交流・研修
- ・情報共有体制
- ・実践につながる会議
- ・温度差を埋める取組実の検討

【主な意見・課題感】

「会議して終わる」「相談員任せ」「温度差」など、“連携疲れ”や“形骸化”への危機感について話されていた。

⑥グループ ③連携の仕組み

①今できていること

- ・ 支援員同士の共有
- ・ 保護者との連携
- ・ チーム支援
- ・ SNS活用
- ・ 現場同士で助け合っている

②これから取り組めそうなこと

- ・ SNS活用ルール整理
- ・ 情報共有方法整理
- ・ チーム支援強化
- ・ 若手・ベテラン交流の機会作り
- ・ 話しやすい空気づくり

③圏域として取り組むこと

- ・ 事業所間ネットワーク
- ・ SNS含めた情報共有
- ・ 事業所間で支援方法共有
- ・ 若手・ベテランの交流機会づくり
- ・ 若手育成

【主な意見・課題感】

人と人とのつながりの重要性を再認識する必要があり、「共有したつもり」「感覚差」「温度差」など、“コミュニケーションギャップ”についての危機感等話されていた。

⑦グループ ①～③全テーマ

①今できていること

- ・ ケース会議
- ・ 多職種連携
- ・ 地域資源活用
- ・ インフォーマル支援
- ・ 家族支援

②これから取り組みそうなこと

- ・ 本人中心支援
- ・ 地域全体で支える
- ・ 地域資源開拓
- ・ 専門性向上
- ・ ケースを通じた学び

③圏域として取り組むこと

- ・ 地域全体ネットワーク
- ・ 地域住民連携
- ・ 重度支援体制
- ・ 断らない地域づくり
- ・ 地域で支える文化づくり

【主な意見・課題感】

「制度」ではなく、“地域そのもの”をどう作るか、という視点で話されていた。